



祝 辞

公益社団法人日本技術士会
会長 吉田 克己

公益社団法人日本技術士会北海道本部は、昭和 41 年 5 月に全国 5 番目の北海道支部として設立されました。平成 23 年 4 月、日本技術士会が公益社団法人の認可を受けたことに伴い「北海道本部」になりました。本年度 50 周年の節目を迎えることになり誠にありがとうございます。

この間、北海道本部の発展に貢献された歴代本部長をはじめ役員、そして北海道本部所属会員の皆様のご尽力に対し心から敬意を表すると共にお祝いを申し上げます。

公益社団法人日本技術士会は、技術士法に基づく我が国で唯一の技術士による技術者集団であり今年で 65 周年を迎えました。技術士は、21 技術部門にわたって高度の専門的応用能力を必要とする事項の計画、設計、評価等の業務を、統轄本部と 8 地域本部、26 県支部において活動しております。

なかでも北海道本部は、現在外部向けの活動にも重点を置かれ、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所や独立行政法人国立高等専門学校機構の函館、苫小牧、釧路、並びに旭川工業高等専門学校と連携・協力に関する協定を締結するなど、研究成果や技術の地域還元、技術者の育成支援、地域の防災・減災、科学技術の振興、地域のイノベーション創出に寄与する活動を展開していると伺っております。

このような外部への情報発信や社会貢献を主眼とする北海道本部の活発な活動に改めて敬意を表し感謝申し上げます。会員の皆さまのこれらの活動が、地域の発展・振興に寄与し、広く社会に貢献することで、技術士並びに本会の知名度向上に繋がるものと確信しております。

今後も地域の教育機関や関係機関との連携がさらに強化され、広大な北海道地域の持続的な発展に貢献されることを期待しております。

さて、この 4 月からスタートした「第 5 期科学技術基本計画」においては、科学技術を担う人材の育成・活躍促進を重要課題の一つに掲げております。その中では産業界における技術士の活用についても触れられております。また、科学技術・学術審議会技術士分科会においては、技術者一人ひとりのキャリア形成や技術士資格の国際的通用性の観点から精力的に検討がすすめられております。

我が国を代表する技術者集団である日本技術士会への期待はますます増大していくものと考えております。技術士の一人一人が高い倫理感を備え、複合的な課題を解決できる資質能力を保有し、公益確保、社会貢献に努めて頂きたいと考えております。

最後に、創立 50 周年にあたって、このように盛大な記念事業を計画されました能登本部長はじめ北海道本部の会員の皆様のご努力に感謝いたしますと共に、北海道本部と会員の方々のご発展・ご活躍を祈念して祝辞といたします。